

I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立むつ養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input checked="" type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他()		
	単元(題材)名	ともだちと遊ぼう		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンのスライドを動かすことに興味をもち、手遊び歌や画面の変化を友達と一緒に楽しむことができる。 		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	1 年 3 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名等を読むことは難しいが、イラストや写真を見ることは楽しんで取り組む場面が多い。 ・教師が前で手遊び歌を見せると注目し、真似をすることができ、楽しんで活動する様子が見られる。 ・iPadの画面に興味を向ける児童が多い。 		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad、パソコン		
	使用したアプリケーションの名称	カメラ機能、Google ドライブ、パワーポイント	  	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの画面を見たり、簡単な操作をしたりすることに興味をもつ。 ・これからの授業や活動の中で ICT を活用する際に主体的に学習に取り組む。 ・iPadの音声を聴いたり、教師の手遊び歌を見たりして、新たな手遊び歌に親しむ。 		
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ○活用場面 <ul style="list-style-type: none"> ・新しい手遊び歌で遊ぶ場面 ○行った支援 <ul style="list-style-type: none"> ・学級の友達に関心をもてるように、手遊び歌の振り付けをする児童と、マウスをクリックして画面を操作する児童の役割を作った。 ・ゆっくり歌を歌いながら、マウスをクリックしてスライドを操作する手本を示した。また、自分で操作することが難しい児童に対しては、手を添えて一緒に行った。 ○児童の様子・変容 <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの操作に興味をもって活動に取り組むことができたが、マウスをクリックして画面を動かすことよりも、ホイールを指で動かしたかったり、キーボードを押したかったり、他の機能に興味があったため、スライドがうまく進まなかった。 ・パソコンを児童の目の前に置くと、いろいろな所を触ってみたいくなるため、プロジェクターでホワイトボードに映すなどして、遠隔で簡単に操作ができる方法を検討したい。 			

